



M0106190-01 (ja)
2020年12
(日本語版: 2021年3月)



取扱説明書

Caterpillar プレミアムオリジナルラジオ

言語: 説明書原本

安全について

車両の運転、整備、修理時に発生する事故の大部分は、安全確保のための基本的なルールや注意事項を守らなかつたこと防が原因となつています。事故の多くは、あらかじめ考えうる危険状況を認識することによって未然に防ぐことができず、作業者は安全に影響を及ぼす恐れのある人的要因を含む、潜在的な危険に注意しなければなりません。整備作業者はこれらの作業を適切に行うために正しい工具と技術を使用し、専門の訓練を受けていなければなりません。

不適切な方法で車両の運転、給脂、整備または修理を行うことは危険で、重傷事故または死亡事故を招く恐れがあります。

本製品の運転、潤滑、メンテナンス、修理については、その作業の実施が許可されており、運転、潤滑、メンテナンス、および修理に関する情報を読んで理解していることを確かめるまで行わないでください。

本書および車両上には安全上の注意事項が記載されています。これらに留意しないと、作業員自身または周囲の人たちが死亡または重傷を負う可能性があります。

これらの危険は「安全に注意を集中させるシンボル」およびそこに含まれる「標語」、「危険」、「警告」または「注意」で識別されています。例えば次に示す「警告」で目立つように説明されています。



この安全警告記号は次のことを意味します。

要注意、危険防止、安全第一。

このシンボルに続いて、予想される危険の内容が説明文または図によって示されます。

製品を損傷する恐れのある運転操作については、製品上および本書内で「注意」ラベルにより明示されている箇所に記載されています（このリストはすべてを網羅するものではありません）。

どこにどんな危険があるかを完全に予知することは、Caterpillar にとって困難な問題です。したがって本書および車両に貼付したラベルに記載されている警告の内容も、必ずしもすべての場合を説明している訳ではありません。作業場所特有の規則や諸注意等、その使用場所で本製品を運転する際に適用されるすべての安全上の規則や注意事項に関して考慮したと確信できない場合は、本書の記載と異なる方法で本製品を使用しないでください。Caterpillar が特に推奨していない工具、作業手順、作業方法、操作技術を使用する場合には、整備作業員は自分自身および周囲の人たちの安全を十分に確かめなければなりません。また、その作業の実施が許可されており、使用する予定の運転、潤滑、メンテナンス、修理の手順によって、本製品が損傷したり、安全性が損なわれたりしないことを確認する必要があります。

本書の説明、整備基準、および写真やイラストは、本書を作成した時点で利用し得た情報にもとづいています。整備基準、締付けトルク、圧力、寸法、調整方法、写真やイラスト等は常に変更されることがあります。これらの変更は、製品の整備作業に影響を与えることがあるので、実施しようとする整備作業について必要な情報を漏れなく集め、最新情報は、Cat デイラから入手できます。

注意

この製品で交換部品が必要な場合、Caterpillar では純正の Caterpillar® 交換部品の使用を推奨しています。

他の部品は、純正機器の一定の仕様を満たしていない場合があります。

交換部品を取り付ける際、機械の所有者/使用者は、機械が依然として該当要件すべてに適合していることを確認する必要があります。

アメリカ合衆国では、排出ガス制御装置およびシステムのメンテナンス、交換または修理は、所有者の選択によって、修理施設または所有者個人で実施される場合があります。

目次

はじめに	4
安全上の基本的注意事項	
安全上の基本的注意事項	5
法規制遵守情報	
無線周波数成分	6
運転操作編	
作動.....	9
索引編	
索引.....	26

はじめに

本書に関する情報

本書は、資料フォルダに保管してください。

本書は、安全、運転操作、保守整備で構成されています。

本書に記載されているイラストの一部は、ご使用の製品とは多少異なる詳細の場合があります。

製品改良および品質向上のため常に設計変更を行っております。そのため、ご使用の製品は本書の記載と異なる場合があります。本書をよく読み理解し、製品と共に保管してください。

ご使用の製品または本書の最新情報に関してのご質問は、Caterpillar社特約代理店にお問い合わせください。

安全編

本編では、安全に関する基本的な注意事項を説明しています。さらに、車両に貼付された警告マークおよびラベルの内容と位置について明記しています。

運転操作編

本編は、初心者には参考資料として、経験者には基本を思い出していただく資料として利用してください。本編は、ゲージ、スイッチ、製品のコントロール、付属装置コントロール、プログラミングに関して説明しています。

写真およびイラストによりオペレータが製品の点検、始動、運転操作、停止について適切な手順を行えるよう説明しています。

本書に記載された運転操作は基本的なものです。製品とその性能に対する理解度が高くなるにつれてオペレータの熟練度と技能は向上します。

保守整備編

本編では装置の整備方法を説明しています。

安全上の基本的注意事項

i08343253

安全上の基本的注意事項

SMCSコード: 7606



警告

取扱説明書の説明と警告をよく読み理解するまでは、この装置の運転や整備などの作業をしてはなりません。説明に従わない場合や警告を無視した場合、重傷事故または死亡事故が生じる恐れがあります。交換マニュアルについては、Caterpillar デイラにお問い合わせください。適正な維持管理を行うことは自己責任である。

前書き

本書は対象機器の取扱説明書を補足するものです。常に対象機器の取扱説明書と一緒に本書を保管してください。

導入

この文書は、CAT®プレミアムオリジナルエンターテインメントラジオシステムの操作に関する情報を提供します。

対象機器の取扱説明書の指示および警告を読み、それらの指示および警告を理解していなければ、機器の操作およびメンテナンスを行ってはいけません。この文書の内容を理解してから、CAT AM/FMラジオシステムを搭載する機器を操作する必要があります。

警告および遵守

本取扱説明書をよく読んでうえで操作を行ってください。また、本取扱説明書は後で参照できるように保管しておいてください。

注意事項

- このユニットを搭載および接続している間は、車両のバッテリーマイナスターミナルを切り離してください。
- ヒューズを交換する際は、同じアンペア定格のものと交換してください。
- アンペア定格が高いヒューズを使用すると、このユニットに深刻な損傷が発生する恐れがあります。
- 水、ピンまたは障害物がラジオ内に入り込まないように注意してください。水、ピンまたは障害物は、誤作動、もしくは感電などの安全上の問題を引き起こす恐れがあります。

- 高温または低温の環境で車両を長時間駐車していた場合、車両の温度が常温になるまで待機してから、このラジオを操作してください。

運転準備

ボリュームを高く上げすぎないでください。ボリュームは、外の警告音（ホーン、サイレン等）が聞こえるくらいのレベルに維持してください。

複雑な作業を実施する前には、車両を停止させてください。

注意

カバーを開けたり修理したりしないでください。認定ディーラーに支援を依頼してください。

注記: 技術的な向上のため、仕様および設計を予告なく変更する場合があります。

取扱説明書 (OMM , Operation and Maintenance Manuals) は現在次の URL で入手できます:

https://www.cat.com/en_US/products/new/parts/radioownersmanual.html#.html

この製品の使用中に直接インターネットにアクセスできない場所にある機器または携帯機器については、紙の OMM を印刷して製品と一緒に備えておく必要があります。

詳細または紙の OMM については、次の URL で最寄りの Cat デイラーを探してご連絡ください:

https://www.cat.com/en_US/support/dealer-locator.html

法規制遵守情報

無線周波数成分

i08343258

娯楽用ラジオ (プレミアムオリジナルラジオ (DEA700))

SMCSコード: 7338

表 1

機種	CAT 部品番号
Caterpillarプレミアムオリジナルラジオ (24 V)	562-4777
Caterpillarプレミアムオリジナルラジオ (24 V)	562-4778
Caterpillarプレミアムオリジナルラジオ (24 V)	562-4779
Caterpillarプレミアムオリジナルラジオ (12 V)	585-1577
Caterpillarプレミアムオリジナルラジオ (12 V)	585-1578
Caterpillarプレミアムオリジナルラジオ (12 V)	585-1579

仕様

以下に記されている仕様は、関連する危険評価の実施に役立てるとともに、現地のあらゆる法規を確実に遵守するために使用してください。

表 2

作動電圧および電流引き込み		
機種	電圧範囲	電流引き込み
24 Vオリジナルラジオ	16 V ~ 32 V	7 A
12 Vオリジナルラジオ	10.8 V ~ 16 V	7 A

表 3

ラジオ仕様	
機能	周波数範囲
WB	162.40 MHz ~ 162.55 MHz
AM	522 kHz ~ 1,710 kHz
FM	87.5 MHz ~ 108.00 MHz
DAB	153 kHz ~ 279 kHz
SXM	2,332.5 MHz ~ 2,345.0 MHz
Bluetooth	2,402 MHz ~ 2,480 MHz

表 4

無線帯域周波数							
パラメータ	欧州	米国	ラテンアメリカ	日本	中国	サウジアラビア	
WX	範囲 (MHz)	該当なし	162.40 ~ 162.55	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
	シークステップ (kHz)	該当なし	25	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
	マニュアルチューニングステップ (kHz)	該当なし	25	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
LW	範囲 (kHz)	153 ~ 279	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
	シークステップ (kHz)	9	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
	マニュアルチューニングステップ (kHz)	9	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
AM	範囲 (kHz)	522 ~ 1,620	530 ~ 1,710	530 ~ 1,710	522 ~ 1,629	531 ~ 1,602	531 ~ 1,602
	シークステップ (kHz)	9	10	10	9	9	9
	マニュアルチューニングステップ (kHz)	9	10	10	9	9	9
FM	範囲 (MHz)	87.5 ~ 108.0	87.7 ~ 107.9	87.5 ~ 107.9	76.0 ~ 90.0	87.5 ~ 107.9	87.5 ~ 108.0
	シークステップ (kHz)	100	200	100	100	100	100
	マニュアルチューニングステップ (kHz)	100	200	100	100	100	100

認証の通知

FCCおよびICに関する注意事項

干渉

このラジオは、FCC規則のパート15およびIndustry Canadaのライセンスに適合しています (RSS規格は除く)。作動は次の2つの条件を前提とします。
 (1) この装置は干渉を発生させない。(2) この装置は、この装置の不要な作動を生じる可能性がある干渉を含めて、いかなる干渉をも許容しなければならない。

放射線被ばく

この装置は、非管理環境について規定されたFCC/IC放射線被ばく限度に適合し、FCCの電波 (RF, radio frequency) 被ばくガイドラインに適合しています。電波被ばくガイドラインは、OET 65についての補遺Cに記載されています。この装置は、IC電波 (RF) 被ばく規則のRSS-102にも適合しています。アンテナの近傍にトランスミッタを配置したり、他のアンテナやトランスミッタを作動させたりしないでください。

FCCクラスBデジタル装置に関する注意事項

この機器には試験を実施し、FCC規則のパート15に適合するクラスBのデジタル装置の規制に適合していることが証明されています。この規制は、個人の家に取り付けられた場合に有害な障害に対して適切な保護を提供するよう設定されています。この機器は無線周波エネルギーを発生して使用しませんが、無線通信のために指示して取り付けた場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。それでも、特定の設定で電磁干渉が発生しないという保証はありません。この機器が無線およびテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合、機器の電源を切ったり入れたりすることで確認できます。次の項目以上の方策により、ユーザが干渉の是正を試みることを奨励します。

- デイラまたは無線/テレビの専門技術者に相談します。

変更に関するステートメント

Caterpillarは、ユーザによるこの装置に対するいかなる変更または改造も認めません。変更または改造があった場合は、ユーザの機器を操作する権利は無効となります。

明示的な承認なくこの機器を変更または改造すると、この機器を使用する権利が無効になる場合があります。

適合宣言書 - 欧州連合

表 5

Caterpillar®
EU適合宣言書

この適合宣言書は、製造者の単独の責任の下で発行されます。

製造者:

CATERPILLAR INC
100 N.E. Adams Street
Peoria, IL 61629
USA

以下、この製品について宣言します。この記述の対象: AM/FM/BT/DAB対応自動車用ラジオ

ブランド: Caterpillar

モデル: プレミアムオリジナルラジオ

部品番号:

562-4777 (AM/FM/BT)

585-1577 (AM/FM/BT)

562-4778 (AM/FM/BT/DAB)

585-1578 (AM/FM/BT/DAB)

上記のメーカーを代表する署名者は、上記の製品が以下の関連する連合整合法令に適合していることをここに宣言します。

指令2014/53/EU

指令2011/65/EU

適合は、次の文書の該当する要件を遵守することで示されます。

評価手順: _____ 別紙II, X 別紙III, _____ 別紙IV

指令	条項	適用される規格
2014/53/EU RED	LVD (3.1a項) :	EN 62368-1:2014+Feb+May 2015 EN 60950-1:2005/A2:2013
	EMC (3.1b項) :	EN 301 489-1 V2.2.0 EN 301 489-17 V3.2.0 EN 55032+C1 2015/2016 EN 55035 2017
	RF (3.2項)	EN 300 328 V2.1.1 EN 303 345 V1.1.7
2011/65/EU RoHS		EN 50581: 2012

公認機関名: Bureau Veritas Consumer Products Services Inc.

公認機関番号: 1797

検査証番号: CS28255

Signature: _____



Name: Michael A. Caruthers

Place: Mossville, IL

Title: Product Manager

Date: 09/22/2020

運転操作編

作動

i08343256

ラジオ

SMCSコード: 7338

⚠ 注意

運転中は、常に視線を道路から外さず、手はステアリングホイール上に保持し、通常の運転に必要な操作に集中するようにしてください。運転者には、車両の安全な運転を継続する責任が課されています。運転中に道路への視線の維持をおよぼすと、自分自身や第三者に危害が及ぶ可能性があります。

導入

本取扱説明書で説明している機能の中には、購入していないオプションの機能であるため、または本取扱説明書の印刷後に変更が行われたために、特定のシステムにはない機能が含まれている場合があります。本取扱説明書に記載の情報は、発行の時点で正確なものです。変更に関する詳細については、ディーラにお問い合わせください。

このラジオシステムは、ボタンを使用して操作します。

注記: このラジオには2つのバージョンが存在することを把握しておくことが重要です。

- 12 VDC
- 24 VDC

ステレオレシーバ



図 2

g06485452

AM/FM/Bluetooth/USB/AUX



図 3

g06485454

SXM/AM/FM/Bluetooth/USB/AUX



図 4

g06485457

DAB/AM/FM/Bluetooth/USB/AUX

ラジオのピン配列

図5にラジオのピン配列を示します。

Cavity	Pin No.	Function	In/Out
A1	1	CAN-High	I/O
A2	2	CAN-Low	I/O
A3	3	Reserved	-
A4	4	Ignition	I
A5	5	PWR_ANT	O
A6	6	Reserved	-
A7	7	Battery	I
A8	8	Ground	I
B1	9	Reserved	-
B2	10	Reserved	-
B3	11	RF+ (Speaker)	O
B4	12	RF- (Speaker)	O
B5	13	LF+ (Speaker)	O
B6	14	LF- (Speaker)	O
B7	15	Reserved	-
B8	16	Reserved	-
C1	17	Ground	I
C2	18	Amplifier Sense	I
C3	19	Reserved	-
C4	20	Telephone Mute	I
C5	21	Reserved	-
C6	22	Reserved	-
C7	23	AUX 2 Left	I
C8	24	AUX 2 Shield GND	I
C9	25	AUX 2 Common	I
C10	26	AUX 2 Right	I
C11	27	AUX 2 ON_OFF	I
C12	28	Reserved	-
C13	29	Reserved	-
C14	30	Reserved	-
C15	31	MIC + (BT)	I
C16	32	MIC - (BT)	I
C17	33	AUX 3 Shield GND	I
C18	34	AUX 3 Left	I
C19	35	AUX 3 Common	I
C20	36	AUX 3 Right	I

図 5

g06613634

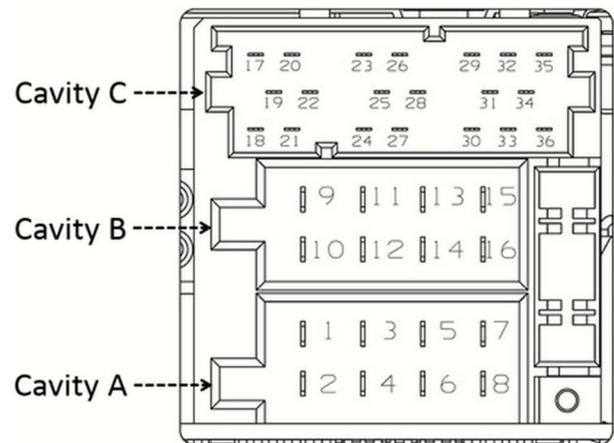


図 6

g06425480

一般的なラジオレシーバの機能

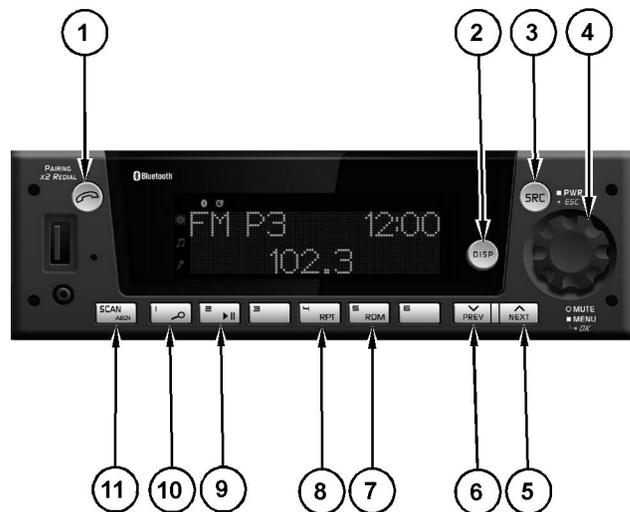


図 7

g06485466

- (1) Phone (電話)
- (2) Disp (デイディスプレイ)
- (3) SRC/PWR/ESC (ソース/電源/エスケープ)
- (4) ノブ
- (5) Next (次へ)
- (6) Prev (前へ)
- (7) RDM (ランダム)
- (8) RPT (リピート)
- (9) 再生/一時停止
- (10) ブラウズ
- (11) SCAN/ASCN (スキャン/自動スキャン)

ラジオボタン操作

SRC (ソース/電源)

SRC (ソース) ボタンを押すと、ラジオをONにした
り、ソースを切り替えたりすることができます (FM
-> AM-> SXMまたはDAB (対応している場合) ->
WXまたはLW-> USB/iPod (対応しており、接続さ
れている場合) -> フロントAUX (接続されている場
合) -> リアAux-> Bluetoothオーディオ (対応して
おり、接続されている場合))。

長押しするとラジオをOFFにできます。

1時間タイマ

イグニッションがOFFの状態ですRC (ソース) ボタ
ンを押すと、レシーバがONになり、ラジオの1時間
タイマが作動します。ラジオは、1時間が経過する
か、SRC (ソース) ボタンを押し続けるとオフにな
ります。

ボリュームノブ/OK

回転させることで音量を上げ下げできます。

押し続けることで (3秒未満)、オーディオを
ミュートにできます。

3秒以上押し続けると、設定調整メニューが表示さ
れます。回転させることで利用可能なメニューをス
クロール表示できます。

メニューを選択したら、押して確定します。

PREV (前へ/戻す)

これを押すと、1つ前のトラックやステーションを
選択します。押し続けると、高速巻戻し (FR) また
はチューニングダウンとなります。

NEXT (次へ/進む)

これを押すと、次のトラックまたはステーションの
選択が行われます。押し続けると、早送り (FF) 又
はチューニングアップとなります。

Phone (電話) (対応している場合)

Phone (電話) ボタンを押すとBluetoothメニューが
表示されます。Bluetoothが有効になっており、デバ
イスが接続された場合、このボタンを長押しするこ
とでダイヤルメニューを表示できます。ボタンを短
く押しすると着信を受けることができます。

SCAN/ASCAN

ステーション/MP3/WMAのファイルおよびフォルダ
をスキャンし、信号が最も強いラジオ局をチューナ
のプリセットに保存します。

再生/一時停止

これを押すと、現在再生中のメディアの一時停止/一
時停止解除が行われます。

RPT (リピート)

これを押すと、現在のトラックがリピートされま
す。再度これを押すと、リピートが停止します。こ
の機能がONであるかOFFであるかは、ラジオディス
プレイの“RPT” (リピート) アイコンで確認できま
す。

ブラウズ

これを押すと、デバイスのナビゲーション操作や、
特定の楽曲や再生コンテンツでの選択操作が行えま
す (USBスティックおよびiPodで利用可能)。

RDM (ランダム)

これを押すと、トラックのランダム再生が行われま
す。再度これを押すと、ランダムモードが解除され
ます。この機能がONであるかOFFであるかは、ラジ
オディスプレイの“RDM” (ランダム) アイコンで確
認できます。

ESC/SRC (エスケープ)

これを押すと、メニューの表示レベルが1つ繰り上
がります。Bluetooth (対応している場合) がONに
なっている場合、これを押すことで通話を拒否また
はキャンセルできます。

DISP (ディスプレイ)

車両のイグニッションがONになっている場合、

- これを押すことでソースディスプレイビューを変
更できます。

車両のイグニッションがOFFになっている場合、

- これを押すことでラジオをONにし、時計を数秒
間表示させることができます。

ラジオ

Audio Source (オーディオソース)

AM, FM, WX/LW, SXM/DAB (対応している場
合), iPod, USB, リアAux, フロントAux, または
BTオーディオにアクセスするには、以下の操作を行
います。

- SRC (ソース) ラジオボタンを押してオプション
をスクロールさせ、希望のオプションを選択しま
す。

USB/iPodおよびBTオーディオにアクセスできるの
は、ラジオのモデルがUSB/iPodおよびBTに対応し、
デバイスが該当するソースに接続または差し込まれ
ている場合のみです。

注記: デバイスが同時に異なるソースに接続されて
いる場合、その機能がデバイスの最高性能は保証さ
れないことに留意してください (デバイスに依
存)。例: フロントAUXとBluetooth, あるいはUSB
とBluetoothを介して同時に接続されているデバイ
ス。

AM-FM-WX/LWラジオ

ラジオを再生します。

チューニング

希望する“Tuner Configuration”（チューナコンフィギュレーション）を選択します。

ラジオがMANUAL（手動）に設定されている場合、ラジオは以下のように操作できます。

- “NEXT”（次へ）または“PREV”（前へ）ボタンを短く押すと、マニュアルチューニングが実行されます。
- “NEXT”（次へ）または“PREV”（前へ）ボタンを長く押すと、シークが実行されます。

ラジオがAUTO（自動）に設定されている場合、ラジオは以下のように操作できます。

- “NEXT”（次へ）または“PREV”（前へ）ボタンを短く押すと、シークが実行されます。
- “NEXT”（次へ）または“PREV”（前へ）ボタンを長く押すと、マニュアルチューニングが実行されます。

マニュアルチューニング

現在の周波数は、1ステップで0.2 MHz（米国FMモード）、10 kHz（米国AMモード）、WXモードでは1チャンネル（25 kHz）ずつ増加/減少します。

放送局のシーク

“シーク”機能が作動すると、ラジオは同調可能な放送局が見つかるまで周波数を増加/減少させます。

注記: 同調可能な放送局が見つからない場合、ラジオは“NO STATION FOUND”（放送局が見つかりません）と表示します。

プリセット

ラジオ局プリセットの保存

プリセット（1~6）ボタンのいずれかを短く押します。ボタンを離すと、プリセット位置に保存された周波数にチューニングされます。

SCAN（スキャン）

スキャン機能を開始させるには、SCAN/ASCN（スキャン/自動スキャン）ボタンを短く押します。スキャンが始まると、ラジオは周波数を増加させて放送局を探し、次の強力な周波数で8秒間停止してから、次の強力な放送局を探します。

注記: バンドを2回通過して放送局が見つからない場合、ラジオは“NO STATION FOUND”（放送局が見つかりません）と表示し、続いて開始した周波数にチューニングされます。

自動スキャン

この機能は、ラジオの電源がオフになるかソースが変更されるまで、現在のバンドで最も電波が強い6局をプリセットに一時的に保存するものです。

“自動スキャン”では周波数がプリセットに番号順に保存されるわけではありません。プリセットは検出された順と周波数の質に応じて保存されます。

“自動スキャン”機能を開始させるには、ラジオがビープ音を鳴らすまで“SCAN/ASCAN”（スキャン/自動スキャン）ボタンを長押しします。ラジオが一時プリセットを保存している間は“AUTO SCAN”（自動スキャン）アイコンが点滅します。

保存プロセスが完了すると、ラジオはプリセット1に保存された放送局にチューニングされ、このモードが有効な間は“AUTO SCAN”（自動スキャン）アイコンが点灯します。

6つの周波数のいずれかにチューニングするか、新しいプリセットを保存するには、プリセットの項に定められている手順に従います。

このモードから抜けて本来のプリセットに戻るには、次のいずれかの操作を実行します。

- SCAN/ASCAN（スキャン/自動スキャン）ボタンを押して保持します。
- SRC/PWR（ソース/電源）ボタンを押します。
- ラジオをオフにします。
- イグニッションを切って再び入れます。
- バッテリーを切り離します。

WX

WXバンドは政府の気象無線サービスの周波数用です。ラジオは7つの気象チャンネルにチューニングできます。詳細については、本書の“チューニング”、“プリセット”および“SCAN（スキャン）”の項を参照してください。

LW

長波ラジオは主に欧州で使用されています。ナビゲーション機能の周波数は153~279 KHzです。チャンネル間の周波数は9 KHzずつ増分します。

LW内を移動する方法については、本書の“チューニング”、“プリセット”および“SCAN（スキャン）”の項を参照してください。

SXM（SiriusXM）（対応している場合）

有効なSiriusXM[®]衛星ラジオの視聴登録がされている場合、SiriusXMプログラムの受信が可能です。

SiriusXMは様々なプログラムおよび商用フリーミュージックを提供する衛星ラジオで、デジタル品質のサウンドを北米大陸全域に放送しています。

SXMディスプレイ

SiriusXM を有効にすると、画面上にチャンネル番号、チャンネル名、アーティスト名/コンテンツ情報、曲タイトルまたはカテゴリ名を表示できます。SiriusXM の情報については、随時アップデートされている場合があります。

"DISP" (ディスプレイ) ボタンを短く押すと、現在の表示ビューを変更できます。

新しいチャンネルが選択された場合、曲が変わった場合、(電源投入またはソースの変更から) SXM ソースが選択された場合、または情報が更新された場合は、すべてのページ分け機能を使ってすべての要素が表示されます。

注記: ページ分け機能は DISP ボタンを短く押すことによって停止できます。

SXMのカテゴリの選択

SiriusXM の放送ステーションはカテゴリごとに分類されています。

SXMのカテゴリ一覧については次のWebページを参照してください。

<http://www.siriusxm.com/sxm/pdf/sirius/channelguide.pdf>

現在のカテゴリを変更するには、NEXT/PREV (次へ/前へ) ボタンを長く押しします。すると、ラジオは次が前のカテゴリの最初のチャンネルにチューニングされます。

カテゴリモードの有効化/無効化

カテゴリサーチモードの有効化は、現在のカテゴリにあるチャンネルだけをサーチさせることを意味します。これを有効化すると、CATEGORY (カテゴリ) アイコンが点灯します。

カテゴリサーチモードの無効化は、すべてのチャンネルをサーチさせることを意味します。これを無効化すると、CATEGORY (カテゴリ) アイコンが消灯します。

電源投入後のデフォルト設定では、カテゴリは無効化されています。

SXMチャンネルの選択

プリセットおよびスキャン機能の動作は、本書の“AM-FM-WX/LWラジオ”の項と同様です。

NEXT (次へ) ボタン

SXMラジオの使用時、利用可能な次のチャンネルに数値順でスクロールできます。

PREV (前へ) ボタン

SXMラジオの使用時、利用可能な前のチャンネルに数値順でスクロールできます。

注記: SXMサービスのアクティベーションがされていない場合は、無料チャンネルだけが示されます。

SXMチャンネルのプリセットの保存

希望のチャンネルにチューニングしたら、ラジオのビープ音が鳴ってラジオ局のプリセットが確定されるまで、プリセットボタン (1~6) のいずれかを長押しします。

保存したラジオ局にチューニングするには、プリセット (1~6) ボタンのいずれかを短く押しします。

SXMラジオ ID

チャンネル0にチューニングすると、“RADIO ID” (ラジオID) のラベルとSXMラジオの8桁コードが交互に切り替わります。画面上でこれら2つのメッセージが交互に表示されます。このコードはサービスのアクティベーションに必要となります。

チャンネル0では“DISP” (ディスプレイ) ボタンは機能しません。“Category Mode Enabled” (カテゴリモードの有効化) 中は、チャンネル0は利用できません。

SXMのメッセージ

SXM BUSY (SXMが実行中です): ラジオでオーディオやテキストデータの取得と処理が実行されています。ここで必要とされる操作はありません。

CHECK ANTENNA (アンテナをチェックしてください): SXM用のアンテナやアンテナケーブルがラジオに接続されていないか、アンテナが短絡しています。

NO SIGNAL (信号がありません): SXMチューナーモジュールが“無信号”状態であると報告しています。SXM衛星への信号が回復するまではチャンネル0のみが動作します。

CHAN UNSUBSCRIBED (チャンネルが登録解除されました): ラジオのSXM登録がアップデートされました。メッセージは5秒後に終了します。

SUBSCRIPTION UPDATED (登録がアップデートされました): ラジオの登録がアップデートされました。メッセージを消去して以前の状態に戻すには“OK” (ノブ) を押しします。

CH UNAVAILABLE (チャンネルが利用できません): 新規に選択したチャンネルまたは現在選択されたチャンネルについて、要求されたチャンネルが利用できないと報告されました。利用できないチャンネルとは、チャンネルに関する法的な権利に問題はないが、現状は利用できない状態になっているが、チャンネルが特定のSXM登録サービスパッケージに含まれていないことを意味します。5秒後にチャンネル1にチューニングされます。

TUNE START (チューニングの開始): SXMプリセットにチューニングして現在のトラックを初めて聞く場合、“即時再生”バッファを使用してトラックが最初から自動再生されます。“Tune Start” (チューニングの開始) モードを有効化/無効化するには、“チューニングの開始”に記載の手順に従ってください。

INSTANT REPLAY (即時再生): プリセットにチューニングした場合、ラジオで“即時再生”機能を使用してそのチャンネルのバッファコンテンツへの自動アクセスが行われるため、コンテンツに移動できるようになります。“Instant Replay” (即時再生)

モードを有効化/無効化するには、SXMソースがアクティブになっている状態で“DISP”（ディスプレイ）ボタンを長押しします。“Instant Replay”（即時再生）が有効になっている間、“即時再生”によってプリセットキーの2つ目の機能が作動します。

- Skip Backward（逆方向にスキップ）- P1を短く押します。
- Rewind（巻戻し）- P1を押し続けます。
- Play/Pause（再生/一時停止）- P2を短く押して切り替えます。
- Skip Forward（前方向にスキップ）- P3を短く押します。
- Fast Forward（早送り）- P3を押し続けます。
- Go Live（ライブ開始）- P4を短く押します。

TUNE SCAN（チューニングのスキャン）：ラジオで“チューニングのスキャン”機能が実行されると、ラジオでバッファされた曲の初めの一部が自動再生され、各曲の一部が再生されている間、メタデータ（アーティスト、タイトルなど）が更新されます。“Tune Scan”（チューニングのスキャン）の実行中、ラジオは起動された場合に“Skip Backward”（逆方向にスキップ）と“Skip Forward”（前方向にスキップ）の2つのナビゲーションコントロールに反応します。

- “Tune Scan”（チューニングのスキャン）を使用するには、先にプリセットを保存しておく必要があります。プリセットが保存されていない場合、“NOT ENOUGH CONTENT TO SCAN”（スキャンできるコンテンツが不足しています）とディスプレイに表示されます。
- “Tune Scan”（チューニングのスキャン）モードを有効化/無効化するには、SXMソースがアクティブになっている状態で“SCAN”（スキャン）ボタンを長押しします。

DAB（対応している場合）

DABがアクティブになっている場合、ラジオ局の名前とカテゴリ名が画面に表示されます。

DAB Traffic Announcement (TA) (DAB交通情報通知 (TA))

ラジオで利用可能なTA（Traffic Announcement、交通情報通知）が存在することを通知するための警告が作動します。警告を聞くには、警告が作動している状態でボリュームノブを押してオプション“LISTEN”（聞く）に設定します。通知を閉じるには、“ESC”（エスケープ）ボタンを押すか、ボリュームノブをスクロールして押すことで“CANCEL”（キャンセル）オプションを選択します。

DAB Announcement (DAB通知)

ユーザが通話中でないときにDAB通知イベントが発生すると、ラジオが必要なラジオ局に自動的にチューニングされ、ポップアップが全画面表示されます。“ESC”（エスケープ）を押すとポップアップが閉じて最後の画面に戻り、通知が消去されます。

DAB Announcement Category (DAB通知のカテゴリ)

DAB通知では様々なカテゴリの警告を受け取ることができ、ユーザは受け取る通知のカテゴリを“User Menu”（ユーザメニュー）で選択できます。

Alternate Frequency (AF)/Service Following (DAB-FM link) (後続の代替周波数 (AF) /サービス (DAB-FMリンク))

ONにすると、現在の放送局の信号が失われた場合に、DABで現在同時放送中の放送局がシステムで検索されます。ディスプレイは現在の放送局のまま変更されず、新しい音声のみが入り、必要に応じて更新されます。

Regional (地域) (DABラジオのみ)

この機能を使用すると、ユーザは現在の地域に設定を固定したり、別の地域にユーザが移動した場合に別の地域固有のプログラムにラジオをチューニングしたりするように設定できます。

Refresh List (リストの更新)

この方法を使用すると、ユーザはすべてのDABリストを更新できます。

オプション“Refresh List”（リストの更新）は“User Menu”（ユーザメニュー）で選択できます。

リストの更新手順中、ラジオでは操作が進行中であることがユーザに通知されます。

更新処理をキャンセルするには、ESC（エスケープ）ボタンを押します。

Emergency Alert (緊急時警告)

ユーザが通話中でないときに緊急通知イベントが発生すると、ラジオが緊急ステーションに自動的にチューニングされます。

緊急通知が完了すると、ポップアップが画面から削除されます。ユーザがESC（エスケープ）ボタンを押してポップアップを閉じることもできます。

NEXT (次へ) ボタン

DABがアクティブになっている場合、ラジオが現在の放送局リスト内の次の放送局に切り替わります。

PREV (前へ) ボタン

DABがアクティブになっている場合、ラジオが現在の放送局リスト内の前の放送局に切り替わります。

DAB放送局プリセットの保存

希望の放送局にチューニングしたら、ラジオのピープ音が鳴るまで、プリセット(1~6)ボタンのいずれかを長押しします。

保存したラジオ局にチューニングするには、プリセット(1~6)ボタンのいずれかを短く押しします。

DABのメッセージ

Station Not Available – (放送局が利用できません): ある放送局の選局中にその信号が失われた場合、放送局名が画面に表示されたまま、放送局名の下に“Station Not Available”(放送局が利用できません)警告が表示されます。

NO SIGNAL – (信号がありません): DABチューナーモジュールが無信号状態であると報告しています。

Station Currently Unavailable – (現在放送局が利用できません): 放送局が利用できない場合、ラジオには“Station Currently Unavailable”(現在放送局が利用できません)と表示されます。

No info – (情報なし): ラジオテキストが利用できない場合、ラジオには“NO INFO”(情報なし)と表示されます。

iPod (対応している場合)

このラジオは、次のモデルのiPodに対応しています。

- iPod classic (第7世代)
- iPod nano (7G)
- iPod touch (7G)
- iPhone (5S~XS)

その他のiPodも再生できる場合がありますが、機能は保証されません。

ラジオから最大2.1A給電されますので、必要電流が2.1A未満のデバイスは、USBに接続すると充電されます。

注記: DEA7XXラジオモデルは1Aに制限されます。

iPhoneをBluetoothオーディオソースとして接続している場合、iPhoneをiPodとして接続するとBluetoothオーディオソースとしては接続解除されません。

次の状況においては、操作および機能に問題が生じる場合があります。

- このラジオが対応するファームウェアより新しいバージョンがインストールされているiPodを接続した場合
- 他のプロバイダによるファームウェアがインストールされているiPodを接続した場合

- 非正規のAppleケーブルを使用してiPodまたはiPhoneをUSBポートに接続して行う充電動作または再生動作は保証されません(この故障モードを回避するには、常にAppleによって認定されている正規のケーブルを使用することが推奨されています)。

- ケーブルの長さが2mを超えている場合

iPodからの再生

iPodの接続方法:

1. 標準のiPod USBケーブルの一端をiPodのドックコネクタに接続します。
2. ケーブルのもう一方の端をフロントラジオディスプレイにあるUSBポートに接続します。
3. 車両のスピーカを通じてiPodからラジオが再生され始め、楽曲の情報(利用可能な場合はトラック番号、曲名、アーティスト名、経過時間、アルバム名など)が表示されます。
4. iPodが非対応モデルの場合でも、一般の3.5mm(1/8in)ステレオケーブルを使用してAUX入力ジャックに接続して、車両でiPodを聞くことができます。

iPod接続時の予想される作用:

- iPodのバッテリーは、車両がオンの間は自動的に充電されます。
- 車両をオフにすると、iPodがオフになり充電が停止します。

iPodメニュー

次の手順を適用してiPodメニューに進みます。

1. USBソース(iPod接続状態)が有効な状態で拡大鏡(プリセット1)ボタンを押し、iPodメニューにアクセスします。
2. ボリュームノブまたは“Next”/“Prev”(次へ/前へ)ボタンを使用して、種々のiPodメニューオプションを操作します。
3. iPodメニューを使用して次の項目を選択できます。

プレイリスト

次の手順を適用してプレイリストに進みます。

1. iPodにて、プレイリストを押して表示させます。
2. プレイリスト名を選択して、そのプレイリスト内の全曲のリストを表示させます。
3. リストから曲を選択して再生を開始させます。

運転操作編 ラジオ

アーティスト

次の手順を適用してアーティストに進みます。

1. iPod にて、アーティストを押して表示させます。
2. アーティスト名を選択して、そのアーティストによる曲を含む全アルバムのリストを表示させます。
3. リストから曲を選択して再生を開始させます。

アルバム

次の手順を適用してアルバムに進みます。

1. iPod にて、アルバムを押して表示させます。
2. アルバム名を選択し、アルバムの全曲のリストを表示させるか、“All Songs”（全曲）を選択し、iPod にある全曲を表示させます。
3. リストから曲を選択して再生を開始させます。

ジャンル

次の手順を適用してジャンルに進みます。

1. iPod にて、ジャンルを押して表示させます。
2. ジャンル名を選択して、そのジャンルのアーティストのリストを表示させます。
3. アーティストを選択してアルバムを表示させるか、“All Albums”（全アルバム）を選択してそのジャンルの全アルバムを表示させます。
4. “アーティスト”を選択してアルバムを表示させます。
5. “アルバム”を選択して曲を表示させます。
6. リストから曲を選択して再生を開始させます。

ポッドキャスト

次の手順を適用してポッドキャストに進みます。

1. iPod にて、ポッドキャストを押して表示させます。
2. ポッドキャスト名を選択して再生を開始させます。

曲

次の手順を適用して曲に進みます。

1. iPod にある全曲のリストを押して表示させます。
2. リストから曲を選択して再生を開始させます。

作曲家

次の手順を適用して作曲家に進みます。

1. iPod にて、作曲家を押して表示させます。

2. 作曲家を選択して、その作曲家による曲のリストを表示させます。
3. リストから1曲選択して再生を開始させます。

オーディオブック

次の手順を適用してオーディオブックに進みます。

1. iPod にて、オーディオブックを押して表示させます。
2. リストからオーディオブックを選択して再生を開始させます。

iPhone または iPod Touch で、iOS が iOS 5.0 より低いものを USB や Bluetooth を介して接続すると、iPod ソースの選択時、音声がかえらない場合があります。この状況を修正するには、電話機のドックコネクタを選択するか、Apple デバイスを切り離して再接続します。

注記: iOS は Apple のオペレーティングシステムです。

次のコントロールを使用して iPod の再生を行います。

PREV (前へ) -- これを押すと、現在または前のトラックの先頭へ移動します。

注記: トラックの再生が 10 秒未満の場合、前のトラックへ移動します。トラックの再生が 10 秒より長いと、現在のトラックが先頭から開始されます。

NEXT (次へ) -- これを押すと、次のトラックへ移動します。

FF/FR (早送り/巻戻し) -- トラックの早送りまたは巻戻しを行うには、Next (次へ) または PREV (前へ) ボタンを押して保持します。

RDM (ランダム) -- これを押すと、トラックがランダムに再生されます。再度これを押すと、シャッフルモードが停止します。この機能が ON であるかは、ラジオディスプレイの RDM (ランダム) アイコンで確認できます。

RPT (リピート) -- これを押すと、現在のトラックが繰り返されます。再度これを押すと、リピートが停止します。この機能が ON であるかは、ラジオディスプレイの RPT (リピート) アイコンで確認できます。

エラーメッセージ -- “UNSUPPORTED” (非対応) というメッセージが表示されたら、このメッセージには次の理由のいずれかが該当する可能性があります。

- 接続している iPod が対応していない場合。対応しているモデルのリストについては、“iPod (対応している場合), and iPod”の項を参照してください。

- iPodがラジオのコマンドに反応しない場合。この場合、iPodをリセットして再接続してみます。

“NO MUSIC”（曲なし）というメッセージが表示される場合、次の理由が該当する可能性があります。

- iPodに再生可能なファイルが存在しない。

USB（対応している場合）

USBからの再生

USBポートにUSB大容量記憶装置を接続することで、USB大容量記憶装置の音楽ファイルを聞くことができます。

注記: USBポートは、ラジオの前面にあります。

このUSBポートからの5 V DC出力は、2.1 Aまでに制限されています。

注記: モデルによっては、1 Aまでに制限されている場合もあります。

USB MP3プレーヤおよびUSB

ドライブ

ラジオに接続するUSB MP3プレーヤまたはUSBドライブは、次のUSBストレージの仕様に従う必要があります。

- MS-Dosパーティションのみ。
- クラス仕様（USB MSC）。FAT32、FAT16、NTFS、およびHFS+の各フォーマットに対応。
- ハードディスクドライブも場合によっては再生可能。ただし、ハードディスクドライブは保証外。
- このラジオでは書き込み禁止の楽曲は再生不可。
- MTPプレーヤは非対応。
- USB 3.0デバイスは対応しているが、メディア再生は保証外（デバイスが後方互換性に対応している場合を除く）。

MP3ファイル作成の際は、次のガイドラインを満足する必要があります。そうでない場合、ファイルを再生できない可能性があります。

MP3ファイルの場合

- ビットレート: 32, 40, 48, 56, 64, 80, 96, 112, 124, 160, 192, 224, 256, 320 kbps（MPEG-1 Audio Layer 3）。
- サンプリング周波数: 32, 44.1および48 kHz（MPEG-1 Audio Layer 3）。
- 最大フォルダ数: 8フォルダ。各フォルダに255ファイルまで。

- M3UおよびPLSプレイリストの各バージョンに対応。

プロテクトなしのWMAファイルの場合

- バージョン: 1, 2, 7, 8, 9および9.1。
- ビットレート: 32 ~ 320 kbps。
- サンプリング周波数: 32 ~ 48 kHz。

USBデバイスの再生

次の手順を適用してUSBデバイスに進み再生します。

1. USBを接続するとUSBの再生が始まります。
2. ラジオでUSBの再生が開始され、トラック番号、曲、アーティスト、経過時間、およびアルバム情報があれば表示されます。
3. USBデバイスでメディア参照リストが作成されている間、メディア再生は接続しているUSBソースで利用可能な最初の曲のみに制限されます。

注記: 参照リストの更新中に“PREV”（前へ）または“NEXT”（次へ）を押すと、現在の曲が始めから再生されます。

フロントAUX

“フロントAUX”モードでは、iPodまたはMP3プレーヤ等の外部デバイスをラジオ前部にあるAUX入力ジャックを介して再生できます。

外部デバイスを使用するには、AUX入力ジャックを介してデバイスを接続するだけです。

“フロントAUX”モードは、レシーバ前部のAUX入力ジャックにデバイスが接続されていない場合は利用できません。

リア補助

“リアAUX”モードでは、ラジオのリアパワーAUX入力ラインを介して接続した外部デバイスを再生できます。

外部デバイスを使用するには、AUX入力ジャックを介してデバイスを接続し、“SCR”ボタンを使用して選択するだけです。

注記: リアAUXソースは、リア入力または現在のアプリケーションにデバイスが取り付けられていなくても利用できます。

Bluetooth（対応している場合）

このラジオは、Bluetooth（BT）デバイスに接続できます。この機能を使用するには、デバイスにBluetoothが必要で、このラジオにペアリングして接続する必要があります。

このラジオには最大10個のデバイスを接続できます。ラジオは、前回ペアリング/接続したデバイスから開始し、最初の利用可能なペアリング済みのデバイスに接続します。

電話ボタンを押すと、Bluetooth メニューが利用可能になります。Bluetooth メニューを操作するにはボリュームノブを回します。

Bluetooth メニューは次のオプションで構成されています。

- BT Enable (Bluetooth有効化)
- CONNECT PHONE (電話機の接続)
- DISCONNECT PH (電話機の切離し)
- ADD PHONE (電話機の追加)
- DELETE PHONE (電話機の削除)
- BT PROFILES (Bluetoothプロファイル)

注記: 一部のオプションは、デバイスとペアリング済みの場合のみ有効です。

Bluetooth の有効化/無効化

ラジオでBluetooth を有効化/無効化するには、次のようにします (Bluetooth がまだ作動していない場合)。

1. ラジオがオンのときに電話ボタン を押します。Bluetooth メニューが表示されます。
2. ディスプレイに “BT Disable” (Bluetooth無効化) または “BT Enable” (Bluetooth有効化) と表示されるまで、ボリュームノブを回します。
3. ボリュームノブを押して、Bluetooth を “有効” / “無効” にします。

以前にBluetoothデバイスをペアリングした場合、電話アイコンが有効になって矢印アイコンが点滅し、以前にペアリングした電話機との再接続が試行されるまで続きます (電話機との再接続は、それぞれ3回試行されます)。

Bluetooth デバイスのペアリング

ペアリングを完了させるには、次の手順に従う必要があります。

1. ラジオおよびデバイスでBluetooth を有効にします。詳細については、デバイスのマニュアルを参照してください。
2. 次のようにして、Bluetoothデバイスをラジオにペアリングします。
3. ディスプレイに “ADD PHONE” (電話機の追加) と表示されるまで、ボリュームノブを回します。
4. ボリュームノブを押して動作を確定します。ラジオに “ADDING PH” (電話機追加中) と3秒間表示されます。この検出可能モードでは、Bluetoothステータスアイコンが最大3分間点滅します。電話機が見つからなかった場合は、ラジオに “NO PH FOUND” (電話機が見つかりません) と表示され、電話機アイコンおよび矢印アイコンが無効になります。

5. 検出可能モードの間に、携帯電話機でBluetooth デバイスを追加するように設定し、“DEA700” という名前を探します。

6. ご使用の電話機の指示に従って接続を追加します。必要に応じて、4桁のPIN、0000を使用し、ラジオに接続します。

携帯電話機の追加に成功すると、ラジオに “PH CONNECTED” (電話機に接続済み)、続いて Bluetooth デバイス名が表示されます。ディスプレイにて電話アイコンが有効になり、矢印が無効になります。

ラジオがつながると、Bluetooth アイコンが点滅します。アイコンの点滅は、レシーバが携帯電話機の “連絡先” のダウンロードを試行していることを示しています (“連絡先へのダイヤル” 機能用)。すべての連絡先のダウンロードが完了するが、ラジオが携帯電話機からの連絡先の受信を時間切れで終わらせると、アイコンの点滅が止まります。詳細については、電話機のユーザガイドを参照してください。

注記: ペアリングモード中に “ソース” を変更するとこのプロセスがキャンセルされます。ソースはラジオの “SRC” ボタン、または外部コントロール (ステアリングホイールまたはリアシートオーディオコントロール) から変更できます。

Bluetooth デバイスの接続

デバイスを以前にペアリングした場合、次のようにして簡単にデバイスへ接続できます。

1. “電話” ボタンを押します。Bluetooth メニューが表示されます。
2. ディスプレイに “CONNECT PH” (電話機の接続) と表示されるまで、ボリュームノブを回します。
3. ノブを押して動作を確定します。
4. 希望のBluetoothデバイスを選択します (ノブを回し、ノブを押して確定します)。ラジオに “CONNECTING” (接続中) と3秒間表示されます。

ラジオが接続すると、ラジオに “PH CONNECTED” (電話機に接続済み) とデバイスの名前が表示され、Bluetooth アイコンが点滅します。Bluetooth アイコンの点滅は、ラジオがデバイスの “連絡先” のダウンロードを試行していることを示しています (連絡先へのダイヤル機能用)。すべての連絡先のダウンロードが完了するが、ラジオが携帯電話機からの連絡先の受信を時間切れで終わらせると、アイコンの点滅が止まります。ディスプレイにて電話アイコンが有効になります。

デュアルフォン

この機能では、接続されている2つのBluetooth デバイスをラジオに同時にペアリングすることができません。1つを電話機として、もう一方をBluetoothメディアデバイスとして使用できます。この機能を使用するには、2つのBluetoothデバイスがペアリング対象のラジオの範囲内にある必要があります。電話機のメニューでBluetoothデバイスの “手動” 選択を行い、目的の電話機を適切なプロファイル (電話機またはオーディオ) で接続します。

デバイスの切離し

Bluetoothデバイスを接続しているときにデバイスをラジオから切り離す必要がある場合は、次の手順を実施します。

1. 電話ボタンを押します。Bluetoothメニューが表示されます。
2. ディスプレイに“DISCONNECT PH”（電話機の切離し）と表示されるまで、ボリュームノブを回します。
3. ボリュームノブを押して動作を確定します。

少しの間、ラジオに“DISCONNECT PH”（電話機の切離し）と表示されます。電話機が切り離されると、ラジオに“DISCONNECTED”（切離し完了）およびBluetoothデバイス名が表示されます。電話アイコンが無効になります。

1つまたはすべてのデバイスの削除

ラジオから以前ペアリングした1つまたはすべてのデバイスを削除するには、次のようにします。

1. 電話ボタンを押します。Bluetoothメニューが表示されます。
2. ディスプレイに“DELETE PH”（電話機の削除）と表示されるまで、ボリュームノブを回します。
3. ボリュームノブを押してサブメニューに入ります。ラジオにBluetoothデバイス名のリストが表示されます。ボリュームノブを回してスクロール表示します。
4. 削除するデバイスを選択するか、ボリュームノブを押して“DELETE ALL”（すべて削除）を選択し、リストにあるペアリング済みデバイスすべてを消去します。ラジオに“PH DELETED”（電話機削除完了）と表示されます。

音声認識（対応している場合）

Bluetoothデバイスが音声認識に対応している場合、Bluetoothメニューにオプションが表示され、作動できるようになります。音声認識を使用するには、接続しているBluetoothデバイスでこのオプションが有効になっていることを確認する必要があります。音声認識の使用時、デバイスの遅延により、セッションを開始する際に1～2秒の遅延が発生する場合があります。

注記: 音声認識状態を報告する際の動作は、AndroidデバイスとAppleデバイスとは異なります。この動作により、電話機のメニューにはオプションが存在するものの、選択しても音声認識が動作しない場合があります。

ハンズフリー/Bluetooth機能

デバイスが正しくペアリング（“Bluetooth デバイスのペアリング, and Bluetooth”を参照）および接続（“Bluetooth デバイスの接続, and Bluetooth”を参照）されると、接続済みのデバイスに“ハンズフリー”機能がある場合、ラジオは次の“ハンズフリー”機能に対応します。

ダイヤルメニュー

このラジオは、デバイスから最近の通話および連絡先の情報を読み出すことができます（デバイスにてハンズフリープロファイルを有効にする必要があります）。ユーザがその操作を理解しなければならない場合があります。

デバイスが通話中でないときに電話ボタンを押すと、ダイヤルメニューにアクセスできます。

ダイヤル/リダイヤル

ユーザは、最近かけた電話番号を呼び出してその電話番号に電話をかけることができます。電話ボタンを長押しすると、最後にかけた電話番号がダイヤルされます。

お気に入り

ラジオには6つの電話番号を保存できます。電話番号を保存するには、“連絡先にダイヤル”機能または“最近の通話”機能のいずれかを使用して、連絡先を選択します。目的の連絡先の電話番号が表示されたら、ボリュームノブを押してオプション“ADD TO FAV”（お気に入り）を追加を選択します。電話番号が“Favorites”（お気に入り）リストに保存されます。

お気に入りリストに保存した電話番号にダイヤルするには、ダイヤルメニューから“FAVORITES”（お気に入り）を選択し、ボリュームノブを回して番号を選択します。ボリュームノブを押して“DIAL”（ダイヤル）を選択し、保存した電話番号に電話をかけます。

番号を削除するには、目的の電話番号に対して前のプロセスを繰り返し行い、“DEL FAV”（お気に入り）を削除を選択します。

連絡先にダイヤル

このラジオは、携帯電話機の連絡先を読み込んで表示させることができます。電話ボタンを押して“ダイヤルメニュー”を表示し、“DIAL CONTACTS”（連絡先にダイヤル）が表示されるまでボリュームノブを回し、ボリュームノブを押してこの機能を選択します。ノブを回して、保存された様々な連絡先（電話機からは最大500件の電話番号、SIMからは250件の連絡先）の中から選択します。表示された連絡先にダイヤルする場合、“OK”ボタンを押します。

このラジオは、各連絡先（利用できる場合）から、“HOME”（ホーム）、“WORK”（仕事）、“MOBILE”（携帯）、“OTHER”（その他）、“PREFERRED”（お気に入り）といった電話番号をダウンロードします。ダイヤルメニュー内にて、連絡先は“H”、“W”、“M”、“O”または“P”に加えて10桁の番号（XXXXXXXXXX）で表示されます。

転送に成功すると、ラジオには“DIAL CONTACTS”（連絡先にダイヤル）サブメニューが表示されます。ラジオが電話機に接続するたびに、“DIAL CONTACTS”（連絡先にダイヤル）サブメニューが更新されるので、必要に応じてこの手動操作を繰り返さなければならない場合があります。

最近の通話

このラジオは、最近の通話10件をリスト表示できます（“DIALED”（発信）、“RECEIVED”（受信）および“MISSED”（不在着信））。ユーザは、ボリュームノブを回して選択した通話リストを操作します。“OK”ボタンを押して電話をかけます。

注記: この機能が表示されるのは、携帯電話機がこの機能に対応している場合のみです。

通話オプション

“ハンズフリー”通話中は、次のオプションを利用できます。

通話の受信

電話がかかってくると、デバイスがこの機能に対応している場合、ラジオで大きな着信音が鳴ります。そうでない場合は、デフォルトの着信音が鳴ります。着信音が鳴っている間、ユーザは着信音の音量を調整できます。13より低い音量は、次の着信音に適用されません。13以上の音量は、次の着信音に保存されます。

電話がかかってくると、ラジオには発信者の名前（わかる場合）および電話番号が表示されます。電話を受けるには、次のいずれかのラジオボタンを押します。

- Phone（電話）
- ボリュームノブ
- NEXT（次へ）

通話の拒否

電話がかかってくると、ラジオには発信者の名前（わかる場合）および電話番号が表示されます。通話を拒否するには、次のいずれかのラジオボタンを押します。

- ESC（エスケープ）
- PREV（前へ）

通話の終了

ハンズフリー通話中、ラジオには発信者の電話番号および経過時間が表示されます。通話を終了するには、次のいずれかのラジオボタンを押します。

- Phone（電話）
- ESC（エスケープ）
- PREV（前へ）

マイクのミュート

“ハンズフリー”通話中、一時停止/再生（プリセット2）を押すと、ラジオのマイクがミュートされます。再び押すとミュートが解除されます。

通話の転送

通話中の場合、ラジオの“電話”ボタンを3秒以上押すと、その通話が携帯電話に転送され、プライベートな会話ができます。再びハンズフリーモードに戻るには、このプロセスを繰り返します。

注記: 一部のデバイスでは、転送が実施されるとBluetoothを切り離します。

Bluetoothオーディオ

Bluetooth プレーヤ

接続済みBluetoothデバイスがこの機能に対応する場合、ラジオへのオーディオソース入力として使用でき、電話機に保存された音楽ファイルを楽しむことができます。

この機能は、デバイスのデフォルトプレーヤで使用する必要があります。接続済みデバイスでサードパーティ製のプレーヤを使用した場合、機能は保証できません。ユーザが電話機内でプレーヤを変更するか操作すると、ラジオとの同期が切れることがあります。

電話機の音楽ファイルにアクセスするには、“SRC”（ソース）ボタンを押して“BT AUDIO”（Bluetoothオーディオ）を選択します。

“BT AUDIO”（Bluetoothオーディオ）では、次のラジオボタンを使用できます（デバイスが機能に対応している場合）。

- Play（再生）
- Pause（一時停止）
- NEXT（次へ）
- PREV（前へ）
- Fast Forward（早送り）
- Fast Reverse（巻戻し）
- Repeat（リピート）
- Random（ランダム）

注記: この機能が表示されるのは、携帯電話機がこの機能に対応している場合のみです。

注記: 電話機によって機能が異なる場合があります。

再生/一時停止

これを押すと、現在のトラックを再生します。再び押すとオーディオが一時停止します。

注記: 一部の電話機では、オーディオが利用できる間、ラジオに“BT AUDIO PAUSE”（Bluetoothオーディオ一時停止）と表示される場合があります。このラジオのBluetoothリモートコントロールコマンドに完全に対応していない電話機では、このように表示されるのが普通です。

PREV (前へ)

これを押すと、現在または前のトラックの先頭へ移動します。

トラックの再生が10秒未満の場合、前のトラックへ移動します。トラックの再生が10秒より長いと、現在のトラックが先頭から開始されます。

NEXT (次へ)

これを押すと、次のトラックへ移動します。

FF/FR (早送り/巻戻し)

トラックの早送りまたは巻戻しを行うには、“NEXT” (次へ) または “PREV” (前へ) ボタンを押して保持します。

RDM (ランダム)

これを押すと、トラックのランダム再生が行われます。再度これを押すと、シャッフルモードが停止します。この機能が有効または無効になると、RDM (ランダム) アイコンがONまたはOFFになります。

RPT (リピート)

これを押すと、現在のトラックがリピートされます。再度これを押すと、リピートが停止します。この機能が有効または無効になると、“RPT” (リピート) アイコンがONまたはOFFになります。

対応しているオーディオプロファイルバージョン

DEA7XXはAVRCP 1.5に対応しています。

Bluetooth のリンクロス

接続されている場合にBluetoothデバイスがラジオの範囲外 (10 mまたは33 ft) に移動した場合、デバイスはシステムから切り離されます。デバイスがラジオの範囲内に戻ると、デバイスが再接続されます。

Bluetooth の再接続

車両の始動時、電話機とBluetoothの両方のオーディオプロファイルに対し、以前に接続した携帯電話 (お気に入り) が再接続されます。

時計設定

ラジオの時間を調整するには、ボリュームノブを2秒以上押します。ボリュームノブを回してスクローリングリストから“CLOCK SETUP” (時計設定) を選択します。ボリュームノブを押して、“FORMAT” (形式)、“SET TIME” (時間の設定)、“CLOCK VISIBLE” (時計の表示) などのサブメニューを表示します。ボリュームノブを回して目的のサブメニューを選択したら、ボリュームノブを押して確定します。

Format – (形式): ボリュームノブを回して12時間または24時間のいずれかの形式を選択したら、ボリュームノブを押して確定します。

Set Time – (時間の設定): “時”の数字が点滅し始めます。表示形式は、現在の時計の選択と同一です (12または24時間の形式)。ボリュームノブを回し

て“時”を変更し、ボリュームノブを押して“時”を確定します。次に“分”の数字が点滅し始めます。変更したら、ボリュームノブを押して選択内容を確定します。

Clock Visible – (時計の表示): ボリュームノブを回して“YES” (はい) または “NO” (いいえ) を選択し、ラジオのディスプレイに時計を表示するかどうかを選択します。ボリュームノブを押して確定します。

アラーム設定

アラームを設定するには、スクローリングリストでボリュームノブを2秒より長く押して“ALARM SETUP” (アラーム設定) を選択し、ボリュームノブを押して“Alarm Setup” (アラーム設定) メニューに入ります。

“Alarm Setup” (アラーム設定) メニューに入ったから、ボリュームノブを回してアラームのONとOFFを切り替え、ボリュームノブを押して選択内容を確定します。“ALARM ON” (アラームオン) を選択すると、アラームアイコンがONに設定され、次の設定オプションが表示されます。

SET TONE OR SET MUSIC (音色設定または音楽設定): – ボリュームノブを回して“SET TONE” (音色設定) または “SET MUSIC” (音楽設定) を切り替え、ボリュームノブを押して選択内容を確定します。

Volume – (音量): “TONE” (音色) を選択すると、ボリュームノブを回して押し、選択内容を確定することで、音量を“LOW” (低)、“MID” (中) および “HIGH” (高) の間で変更できます。“MUSIC” (音楽) を選択すると、ボリュームノブを回して押し、選択内容を確定することで、音量を0~30の間で調整できます。

注記: 音色の音量を設定している間は、音は聞こえません。

アラームのオフへの切替え – アラームを有効にした場合、アラームをキャンセルするには、“ESC” (エスケープ) ボタンを短く押します。アラームをオフにしない場合、アラームは15分後に自動的に停止されて9分間“スヌーズ”サイクルに入り、再度鳴ります。アラームが鳴るたびにアラームをオフにしないと、このサイクルが3回繰り返され、合計63分アラームが鳴ります (15分のアラーム音サイクル、9分間のスヌーズサイクル、15分のアラーム音サイクル、9分のスヌーズサイクル、15分のアラーム音サイクル)。

スヌーズの有効化: – アラームを“スヌーズ”させるには、アラームが鳴ったときに (“ESC” (エスケープ) ボタン以外の) 任意のボタンを2秒以内で短く押します。“SNOOZE” (スヌーズ) が3秒間表示され、アラームが9分間延期されて再度鳴ります。

注記: 時計の時間形式を変更した後に、設定調整メニューを終了せずに“ALARM SETUP”（アラーム設定）メニューにアクセスした場合、アラームの時間形式は正確に反映されません。時間が不適切に入力されないように、時間形式の変更後は、設定調整メニューを終了してから“ALARM SETUP”（アラーム設定）メニューに入り直すようにしてください。

照度低下

設定調整メニューのスクローリングリストから“DIMMING”（照度低下）メニューにアクセスするには、ボリュームノブを2秒より長く押しします。ボリュームノブを再度押して“DIMMING”（照度低下）メニューに入ります。車両がCANまたはアナログ設定で照度低下を使用している場合、ディスプレイに“DIMMING 0”（照度低下0）と表示されます。この値は、-10~+10の範囲で調整できます。車両がCANまたはアナログ設定で照度低下を使用していない場合、ディスプレイには“DIMMING”（照度低下）と、現在選択している0~30の間のレベルが表示されます。ボリュームノブを時計方向に回すと照度低下が大きくなり、反時計方向に回すと照度低下が小さくなります。ボリュームノブを押して、選択した照度低下レベルを確定します。

リストの更新（DABラジオのみ）

設定調整メニューのスクローリングリストから“RADIO SETUP”（ラジオ設定）メニューにアクセスするには、ボリュームノブを2秒より長く押しします。選択したらボリュームノブを押して、“REGIONAL”（地域）、“TRAFFIC ANNCM”、“DAB ANNCMNTS”（DAB通知）、“DAB ANNCMNTS CAT”（DAB通知のカテゴリ）、“ALT FRQ”（代替周波数）などのサブメニューを表示します。

ラジオ設定（DABラジオのみ）

設定調整メニューのスクローリングリストから“RADIO SETUP”（ラジオ設定）メニューにアクセスするには、ボリュームノブを2秒以上押しします。選択したらボリュームノブを押して、“REGIONAL”（地域）、“TRAFFIC ANNCM”、“DAB ANNCMNTS”（DAB通知）、“DAB ANNCMNTS CAT”（DAB通知のカテゴリ）、“ALT FRQ”（代替周波数）などのサブメニューを表示します。

Regional（地域）

ディスプレイには、現在の選択に応じてONまたはOFFと表示されます。ボリュームノブを回して、2つのオプションの間で変更し、ボリュームノブを押して選択を確定します。このオプションは、DABモードでのみ利用できます。

Traffic ANNCM（“交通情報通知”（TA））

ディスプレイには、現在の選択に応じて“ON”または“OFF”と表示されます。ボリュームノブを回して、2つのオプションの間で変更し、ボリュームノブを押して選択を確定します。TAが有効になっている場合、ラジオのディスプレイにアイコンが表示されます。このオプションはDABラジオに対応したラジオでのみ利用できます。

DAB ANNCMNTS（DAB通知）

ディスプレイには、現在の選択に応じて“ON”または“OFF”と表示されます。ボリュームノブを回して、2つのオプションの間で変更し、ボリュームノブを押して選択を確定します。このオプションはDABラジオでのみ利用できます。

DAB ANNCMNTS CAT（DAB通知のカテゴリ）

ディスプレイには、利用可能な通知のカテゴリと現在の選択内容が表示されます。ボリュームノブを回して、利用可能なオプションをスクロール表示します。

- Weather（天気）
- Event（イベント）
- Finance（ファイナンス）
- News（ニュース）
- RAD Info（ラジオ情報）
- Special（特別）
- Sports（スポーツ）
- Travel（旅行）
- 警告

警告を受け取ることを希望するカテゴリを選択し、ボリュームノブを押して選択内容を確定します（DABラジオのみ）。

ALT FRQ（代替周波数（AF））

ディスプレイには、現在の選択に応じて“ON”または“OFF”と表示されます。ボリュームノブを回して、2つのオプションの間で変更し、ボリュームノブを押して選択を確定します。AFが有効になっている場合、ラジオのディスプレイにアイコンが表示されます。このオプションはDAB機能に対応したラジオでのみ利用できます。

DAB放送局リスト（DABラジオのみ）

ボリュームノブを2秒より長く押して“DAB CHANNEL LIST”（DABチャンネルリスト）メニューにアクセスします。ボリュームノブを回すと、利用可能なすべてのDABチャンネルをスクロール表示できます。これは利用可能な放送局を参照するためだけのメニューであるため、設定を選択することはできません（DABラジオのみ）。

ラジオがAM/FM/LWソース（SRC）モードである場合の追加の設定調整メニューを次に示します。

シーク感度（SEEK SEN）：ボリュームノブを2秒より長く押して“SEEK SENSITIVITY”（シーク感度）メニューにアクセスします。ディスプレイには、現在のレベルが-6~+6の範囲で表示されます。ボリュームノブを時計方向に回すと感度の値が高くなり、反時計方向に回すと感度の値が低くなります。ボリュームノブを押して希望のオプションを選択します。このメニューは、ラジオが“チューナ”モードで再生しているときだけ利用できます。

TUNE CONFIGURATION (チューナ設定) –: ポリウムノブを2秒より長く押し“TUNE CONFIG” (チューナ設定) メニューにアクセスします。ディスプレイには、“TUNE” (チューナ) および現在選択されているオプション、“Auto” (オート) または“Manual” (マニュアル) が表示されます。ポリウムノブを回して“AUTO” (オート) と“MANUAL” (マニュアル) を切り替えます。ポリウムノブを押し希望のオプションを選択します。このメニューは、ラジオが“チューナ” モードで再生しているときだけ利用できます。

ラジオがSXMソース (SRC) モードである場合の追加の設定調整メニューを次に示します (対応している場合)。

カテゴリの有効/無効 (CAT E/D) –

– ポリウムノブを2秒以上押し“CAT E/D” (カテゴリの有効/無効) メニューにアクセスします。ディスプレイには、現在の選択に応じて“CAT ENABLE” (カテゴリ有効) または“CAT DISABLE” (カテゴリ無効) と表示されます。ポリウムノブを回して2つのオプションを切り替えます。ポリウムノブを押し選択内容を確定します。このメニューは、SXMモードでのみ利用できます。

TUNE START (チューニングの開始): ポリウムノブを2秒以上押し“Tune Start” (チューニングの開始) メニューにアクセスします。ディスプレイには、現在の選択に応じて“ENABLE” (有効) または“DISABLE” (無効) と表示されます。ポリウムノブを回して2つのオプションを切り替えます。ポリウムノブを押し選択内容を確定します。このメニューは、SXMモードでのみ利用できます。

オーディオプレーヤ

ミュージックナビゲーションUSB

USBソースが有効な状態で拡大鏡 (プリセット1) ボタンを押し、USB “ミュージック” メニューにアクセスします。

ポリウムノブまたは“Next/Prev” (次へ/前へ) ボタンを使用して、種々のオプションを操作します。

特別な留意事項

ルートディレクトリ

ルートディレクトリは、1つのフォルダとして扱われます。ルートディレクトリ内のフォルダより先に、ルートディレクトリに直接入っているすべてのファイルにアクセスします。

空のフォルダ

ルートディレクトリまたはフォルダが空の場合、またはフォルダのみ含む場合、プレーヤは、ファイル構造内の圧縮オーディオファイルを含む次のフォルダに進みます。空のフォルダは表示されず、番号も付けられません。

オプション装備品

ヒューズ

ラジオのヒューズは、車両のヒューズボックス内にあります。最適なヒューズの値は10 A ~ 15 Aです。

時計のバックアップ (対応している場合)

ラジオでは、車両のバッテリーが切断されている場合でも、少なくとも30日間は時計を作動させ続けることができます。

ヒントおよびトラブルシューティング チャート

ラジオ

放送局にチューニングできない

電波が弱い地域にラジオがあります。

“シーク感度” を上げてください。詳細については、“放送局のシーク”の項を参照してください。

iPod

iPod が再生しないか、音が出ない

iPod が認識されていません。

対応するiPodであることを確認します。

対応するiPodの場合、iPodをリセットして再び接続します。詳細については、“iPod (対応している場合)”, and iPod”の項を参照してください。

iPod が機能していない

作動範囲外になっている可能性があります。iPod プレーヤの作動温度は-20° ~ 85°C (-4° ~ 185°F) です。

車両の室温を高くするか低くして、人が耐えられる範囲にしてください。

Apple インターフェイスケーブルが損傷しているが、対応していない非正規のApple製品が使用されています。

デバイスに充電ケースを付けて使用している場合、充電動作またはメディア再生動作は保証されません。

Bluetooth

ラジオがBluetooth 対応デバイスを認識しない

次のうちいずれかの措置を試行します。

- デバイスを取り外し、その後、そのデバイスをペアリングおよび接続します。詳細については、“1つまたはすべてのデバイスの削除”, “Bluetooth デバイスのペアリング, and Bluetooth” および “Bluetooth デバイスの接続, and Bluetooth” の項を参照してください。

- デバイスがオンになっていることを確認します。
- ラジオのBluetooth アダプタが有効になっていることを確認してください。詳細については、“Bluetooth の有効化/無効化, and Bluetooth”の項を参照してください。
- デバイスが圏外にある可能性があります。デバイスを近づけてみてください。

Bluetooth デバイスとラジオが通信しない

次のうちいずれかの措置を試行します。

- 接続したいデバイスを正しく選択していることを確認します。例えば、以前にペアリングまたは接続したデバイスを2つ以上持っている可能性がありますので、正しいデバイスを選択していることを確認します。
- デバイスによっては、ラジオに接続する前にパスワードが必要な場合があります。
- おそらく、入力したパスワードが間違っていたか、パスワードを入力している間に時間切れになっています。詳細については、“Bluetooth デバイスの接続, and Bluetooth”の項を参照してください。
- デバイスが電波を使用する他のデバイス（電子レンジ、コードレスフォン、電子機器や照明のリモコン、または802.11無線ネットワーク）の近くにある場合、そうしたデバイスによる干渉が生じている可能性があります。作動しないデバイスを他のデバイスから遠ざけてみてください。

Bluetooth デバイスの音楽が聞こえない

デバイスがペアリングおよび接続されていることを確認します。詳細については、“Bluetooth デバイスのペアリング, and Bluetooth”および“Bluetooth デバイスの接続, and Bluetooth”の項を参照してください。

ソースリストメニューにて“BT AUDIO SRC”（Bluetoothオーディオソース）が選択されていることを確認します。詳細については、“SRC（ソース/電源）”の項を参照してください。

ボリュームノブを回してラジオの音量を調整します。

Bluetooth デバイスが一時停止になっていないことを確認します。

Bluetooth デバイスに音楽ファイルがあることを確認します。

電話機をAUXに接続した場合は、デバイスによってオーディオの動作が制御されるため、オーディオを回復させるにはデバイスからAUXを切り離す必要がある場合があります。

リアシートオーディオ（RSA）（対応している場合）

RSA（Rear Seat Audio, リアシートオーディオ）にリンクなしと表示されます。ラジオが起動するまで15秒かかります。ユーザがRSAを使用してラジオを起動したときにラジオがスリープモードであった場合、ラジオの起動中、RSAに“no-link”（リンクなし）と表示されます。この時間の経過後、通信は再び確立されます。

登録商標およびライセンス契約

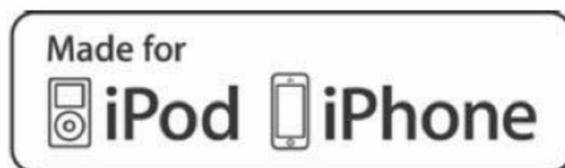


図 8

g06229251

“Made for iPod” および “Made for iPhone” は、電子アクセサリが iPod または iPhone への接続専用設計され、Apple の性能基準に適合していることを開発者が保証したことを示しています。

iPod、iPodTouch および iPhone は、Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国々における登録商標です。

SiriusXM



図 9

g06229256

“SiriusXM” は、このラジオが SiriusXM の基準に適合するように設計され、適合が保証されたことを示しています。

SiriusXM は、SiriusXM Company の米国における登録商標です。

DAB



図 10

g06485471

“DAB”は、このラジオがデジタルオーディオブロードキャストに対応するよう設計されており、高いサウンドフィデリティ、優れた受信状態および新しいデータサービスを提供できることを示しています。

Bluetooth

Bluetooth®文字商標とロゴはBluetooth® SIG, Inc.が所有しており、このラジオにおけるかかる商標は許可を受けて使用しています。

注意事項

製品の清掃

乾いた柔らかい布で定期的に清掃してください。汚れがひどい場合は、布を水のみで湿らせてください。水以外を使用した場合、外観が損なわれたり、レンズやプラスチックが損傷したりする恐れがあります。

Bluetoothが引き起こす注意散漫状態

携帯電話を使用する際、電話機やインフォテインメントシステムの画面を長時間または頻繁に見ることは注意が散漫になる恐れがあります。長時間または頻繁に道路から目をそらすと、けがや死亡事故につながる衝突の危険があります。

運転に集中してください。

索引

英数字

安全について.....	2
安全上の基本的注意事項.....	5
運転準備.....	5
警告および遵守.....	5
前書き.....	5
注意.....	5
注意事項.....	5
導入.....	5
運転操作編.....	9
娯楽用ラジオ (プレミアムオリジナルラジ オ (DEA700)).....	6
FCCおよびICに関する注意事項.....	7
仕様.....	6
適合宣言書 - 欧州連合.....	8
認証の通知.....	7
作動.....	9
法規制遵守情報.....	6
無線周波数成分.....	6
目次.....	3

ハ

はじめに.....	4
安全編.....	4
運転操作編.....	4
保守整備編.....	4
本書に関する情報.....	4

ラ

ラジオ.....	9
ステレオレシーバ.....	9
導入.....	9

製品およびディーラ情報

注記: 製品識別プレート取付け位置に関しては、取扱説明書の”製品識別情報”をご参照ください。

納品日: _____

製品情報

名称: _____

製品 識別番号: _____

エンジン シリアル番号: _____

トランスミッション シリアル番号: _____

発電機 シリアル番号: _____

アタッチメントシリアル番号: _____

アタッチメント 情報: _____

顧客装置 番号: _____

ディーラ装置番号: _____

ディーラ 情報

店名: _____ 支店: _____

住所: _____

ディーラ 連絡先

電話番号

営業時間

販売: _____

部品: _____

整備: _____



M0106190
©2020 Caterpillar
All Rights Reserved

CAT, CATERPILLAR, LET'S DO THE WORK, それらの各ロゴ, "Caterpillar Corporate Yellow", "Power Edge", およびCAT "Modern Hex"のトレードドレスは, ここに記載されている企業および製品と同様に, Caterpillar社の商標であり, 許可なく使用することはできません。